

AFP WORLD ACADEMIC ARCHIVEを活用した 先端的教育プログラム実施報告

和洋九段女子高等学校
本多ゆき
新井誠司

- 実施した授業科目 公民科 政治経済(国際経済分野)
- 指導担当者 主幹教諭 本多 ゆき
- 参加生徒数 高校3年生 15人
- 授業期間 令和3年10月27日(水)～11月29日(月)

☆目的とプログラム概要☆

国際経済分野の学習においては、貿易の意義、為替相場、国際収支の仕組みなどの基本的な理解はもとより、グローバル化が進展する中で国際協調の重要性が増していることを理解する必要がある。これらについてAFP Forumのニュースやデータベースを活用し、具体的な事例を探して国際社会の現状を知ることが目的の一つである。

また、本校は中学・高校を通してSDGs学習に取り組んでいるが、教科書の内容とSDGSを紐づけしつつ、国際経済分野の「解決すべき課題」について、PBLをしながら批判的思考能力、プレゼンテーションスキルを伸ばし、協働性や他者から学ぶ姿勢なども涵養することも目的である。

今回は高校3年の選択科目である政治経済(4単位)の中で、オリジナルプログラムを作成して取り組んだ。教科書は清水書院『高等学校 現代政治・経済』を使用。タブレットは学校で1人1台貸与しているので、アカウントを作成し、各自が授業中だけでなく自由にAFP Forumにアクセスして学習を進めた。

☆オリジナルプログラム(授業で実施した内容)☆

1. 自由貿易と保護貿易について
(教科書p.192～194 第5章①国際分業と貿易の利益)
 - 1) 2枚の写真を見て、学習内容とどのような関連があるか考察する。
 - 2) グループでディスカッションをする。
 - 3) キャプチャ(英文)を読んで、自分たちの考察と比較する。
 - 4) 自由貿易と保護貿易をテーマにコラム(日本語)を書き、プレゼンする。

写真1



写真2



※生徒の活動の様子



AFP Forumサイトから写真のキャプチャを探して読み、グループでディスカッション



コラムをプレゼン

☆オリジナルプログラム(授業で実施した内容)☆

2. 南北問題とCOP26(教科書p.211～217 第5章④アジア経済と南北問題、⑤環境と人口)

- 1) ニュース記事「**UK says hopes to close COP26 climate summit Saturday**」^{注1}を読む。
- 2) 各自がニュース記事を探してCOP26の動向を把握する。
- 3) 南北問題とCOP26の関連を考察する。
- 4) ディスカッションをする。

※生徒の活動の様子

1)を読み、COP26が延長されて行われた理由について各自が考察した結果、合意文書の作成が困難だったことが分かり、合意文書の内容に「失望」を示した議長、石炭火力発電の削減に前向きな先進国とそうでない途上国、さらには途上国の中でも立場の違いから早急な対策を望む国の違いがあることが考察できた。

生徒の中には、自分で探した「**COP26 strikes hard-fought deal but UN says ‘not enough’**」^{注2}を読んでインドの現状が気になり、「**‘Down’ but not ‘out’: Growth needs fuel India’s coal addiction**」^{注3}をさらに読んだ者もいた。

ディスカッションでは「先進国が約束通り援助できるのかという点が心配」「今まで火力発電に依存して経済発展をしてきた立場から、途上国に石炭を使うなど言うのは勝手だ」などの意見が出た。また、「(AFP以外で)調べたら日本の技術でCO₂排出量の少ない火力発電所をつくれると分かったので、途上国に協力できるのではないか」など、国際社会の中での日本の役割に言及する生徒もいた。

☆オリジナルプログラム(授業で実施した内容)☆

3. 「先進国の功罪」(教科書p.211～217 第5章④アジア経済と南北問題、⑤環境と人口)

- 1) 1枚のスライドを見て、与えられたテーマについて考察する。

※スライドの提示方法

- ・まず写真のみを提示し、3人グループで協力してこの写真をAFP Forumアーカイブスで見つける。
- ・次に右のテキストを提示し、考察する。

- 2) AFP Forumアーカイブスを検索して、各自で「先進国の功罪」をテーマにテキストを考え、テキストを象徴する写真を選び、スライドをつくる。

- 3) 2)をプレゼンをする。

※生徒の活動の様子

1)では防護服のようなものから原子力発電所事故にたどり着く→外国ならばチェルノブイリだと分かる→Chernobylで検索をかけて探す、の手順を経て、早いグループは5分程度で探すことができた。さらに、テキストから原子力発電のメリットとデメリットを考察し、科学技術・経済の発展には負の側面もあることが理解できた。

2)では「功罪」の具体例を各自が考え、教科書や今まで学んだことを盛り込んでテキストを作成し、写真を検索していた。

写真3



AFP-Forum
New Safe Confinement
https://www.afpforum.com/AFPForum/Search/ViewMedia.aspx?pn=17&smd=8&mui=3&q=5005668157701481967_0&fst=Chernobyl&fro=1&t=2&hid=7D6C906F3951F2E28D39D5A65BAE3DDC773707B1E09B496972BBE3AED3EAE407&lr=1&opi=17&Psv=0&from=ahR0cHM6Ly93dScuYWZwZm9yW0uY29lOFUeZxcnVhIjNYXjJjC9SZXN1bHRzLmFzZnVhZG%2fc049MTmc2IjKPTgmbXVpPTMmcT01MDA1NjY4MTU3NzAxNDgxOTY3XzAmZnN0PUNoZkxub2J5bCZmdG89MSZ0PTT%3d&mpn=1

人が住めなくなった場所にこの「石棺」はたたずむ。先進国の技術力を以てしても100年先を待っている。

産業革命後、私たちは何かを得て、何かを失ってきた。失わずに済む方法はなかったのか。過去を見つめることが「未来に生きる」ことにつながる。

先進国の功罪

生徒作成
スライド

AFP-Forumより

これはプラスチックゴミに囲まれたガラパゴス諸島に生息する海鳥コバネウの巣の写真である。ガラパゴス諸島の海岸には多くのプラスチックゴミが流れ着き、諸島の固有生物に悪影響を与えてしまう恐れがあり、問題となっている。

元々プラスチックは象牙があらゆる生活分野で使用されており、19世紀に絶滅の危機に瀕していたに象の為に発明されたセルロイドを始めとし、先進国の技術により発展を遂げてきた。プラスチックは生産者には安価で耐久性もあり好きな形に形成できるものとして、消費者には安価であり軽量で使い捨てのできる便利なものとして私達の暮らしに浸透していった。私達の快適な生活はプラスチックによって支えられてきたといっても過言ではない。しかし今、そのプラスチックが環境に悪影響だとされ問題視されている。プラスチックは偉大な発明であり、最悪な発明であったとも言える。

皮肉にも野生動物を保護する為に発明されたプラスチックは今、守るべき動物達の命を脅かす存在になってしまったのだ。

先進国の功罪

生徒作成
スライド

AFP-Forumより
インドネシアのバリ島の熱帯雨林にある
グリーンスクール
ほぼ全ての建造物に竹が使われ、コンポストトイレを
利用し、電力は太陽光と水力で賄っている。

発展途上国における技術革新を起こす次世代リーダーの育成は、先進国の歩んできた道ではなく別の角度からアプローチするため真に豊かな国になることを導く。

技術革新は経済成長を促すが、発展途上国では資金を得てもエンジニアがいない、市場がない、といった問題があるため行われない。しかし、グリーンスクールのように、固定概念に囚われない教育環境が整っていることで、未来を生きる子どもたちが自身が、持続可能な世界を創ることができる。

先進国も発展途上国が経済成長することで、市場の競争率が上がり、技術革新がさらに促進される。環境破壊が進むのではないかという懸念があるが、現在、環境に良いものを買いたいというニーズが増えているため、世界各国が共同して環境問題に取り組み、より良いモノ作りがされるだろう。

途上国の希望

☆生徒の感想☆ AFP サイトについて

- どのような場所でどのような人にどのようなことが起こっているのかを、写真を見るだけで一目で具体的に理解できたのが良かった。他国の人の視点からそのニュースを見ることができたのも良かった。
- 教科書だけではイメージしづらいことも画像を通して理解を深めることができた。
- 国内だけではなく、世界の事情を知ることができたから課題に役立った。
- 自由にキーワードを打ち込むだけで多くの記事が出てくるので、自分が調べたかった内容だけでなく、それに関する他のニュースにも目をつけることができてとても便利だった。
- 写真にも短い文章が付いていて、どの国でどんなことをしているのかなどの状況が理解しやすかった。
- 日本国内の広報機関より、AFPの方が、格差や環境問題や経済についてより詳しく書かれていたので、世界規模で考える課題はこちらの方がやりやすいと思った。特に、日本の記事にはグラフはほとんどなく、現地の人の写真も少ないので、より課題を当事者の立場で考える面では役に立つと思う。
- 普段ネットで画像を検索するときよりも多くの素材が見られた。AFPの場合、その写真の詳細まで載っているのも、あまり馴染みのない問題(南北問題、経済格差)の写真でも理解する事ができた。
- 自分の知らない情報や、普段では絶対見ないであろうニュースがたくさん載っていてすごく役に立った。
- 国内や海外のニュースを海外の視点から見れて、興味深かった。また、新しい視点からニュースを見ることができて自分の考えも感化された。
- コツを掴むまでは手こずったが、慣れると興味深い資料ばかりで勉強になるサイトだと思った。

☆生徒の感想☆ AFP Forum を活用した授業について

- 写真やキーワードから授業の課題に取り組むのは初めてのことで、楽しみながら授業に参加できた。実際の写真を見ることで何が起きているのかを具体的に知ることができ、またキーワードを入力して検索することでそのキーワードから、他の世界の課題や問題を知ることができた。
- 画像を探しながらのグループワークが楽しかった。毎回グループの人の意見が聞けて、1枚の画像から読み取ることが1人1人違うのが面白かったし、自分とは違う考え方から学べることも多かった。
- 表やグラフを見られたからより理解しやすく、自分の考えを深めることができた。授業中、考えていることが増えた。
- 記事で多くの情報を見ることができるだけでなく、写真や図によってビジュアル化することもできたので内容が頭に入りやすかったし、あとから教科書を読むとより理解ができるようになったと思う。
- 国が違うと考え方も違って、自分は日本で生まれて育ったからそういう考え方になっているんだと気づいた。他の国の人がどう考えているか知るのとはとても大切なことだと思った。自分の価値観だけで判断するのはダメだとも思った。
- 写真の量が膨大で探すのが大変だったけれど、最新のニュースを英語で読むことができたのはとても勉強になったと思う。
- 途上国の様子だけでなく先進国の様子もわかる写真もあり、対比しやすかった。
- 私は国内外問わず経済や政治のニュースを見ることが好きなので、AFPの記事を読むのは面白かった。全て英語の文なので読むのに少し苦戦したが、新しい視点を持つのには適切だと思う。今後、何か特定のニュースに対して、海外の反応を見たいときにAFPを読みたいと思う。
- 途上国はこれから発展すると思うけれど、先進国みたく公害が発生しないようにするために、日本などがしっかり協力していくことが必要だと思った。ニュースで途上国の人の困っている記事を読んで、何かしなければならぬとも思った。
- 授業で学んだこと以外にもたくさん知識を増やすことができ、それが授業においても役に立ったし、自分の知識を蓄えられて良い経験になった。
- 実際の国際的な記事を使うことで新たな視点で物事に触れられたので、毎回色々なことを吸収できた。

☆効果☆

- ・今回最も活用したのは写真である。写真も文字も表現の一手法であるが、写真を文字にしたり、文字を写真であらわしたり、という「写真⇄文字の変換」に取り組んだ結果、教科の枠にとられない総合的な学力が形成されたり、適切な用語を使うことができるようになったと感じる。
- ・自分の考えを表現するのに最も適した「写真を選ぶ」という課題においては、豊富な写真データはとても役に立った。
- ・ちょうどCOP26開催時期と重なったため、会議内容や会議における各国の立場・態度などに関する記事や写真が豊富にあり、先進国と途上国の経済格差、さらにはSDGs10、17等について考えるよい材料となった。
- ・海外通信社の報道に触れることで「外国の人は世界をどのように報道しているか」を知ることとなり、「日本は世界をどのように見ているのか」を意識するきっかけとなった。さらに、自分の考え方が「日本の価値観」に基づくものだという気づきや、その価値観が絶対的ではないこと、グローバルスタンダードも絶対的ではないことまで思い至る生徒が出てきて、良い学びができた。
- ・南北問題を学ぶ上では、「先進国＝豊かで良い」「途上国＝貧しくてかわいそう」というステレオタイプから脱却させたい意図があった。アーカイブスから教材として利用したチェルノブイリ発電所の石棺とモバイル端末を持つマサイ族は、共に生徒の意表を突くことに成功した。普段から教材として利用できると固定概念を変える働きかけがしやすいと感じた。
- ・地歴公民科は教科書を理解して暗記することに意識が向く生徒が多い。しかし、今回、教科書とニュースサイトを照らし合わせながら学習を進めたことで、教科書に書いてあることと現実の社会で起きていることを結び付けられるようになり、知識が「生きた知識」となったと感じる。また、教科書には往々にして理想論が述べられているが、現実の社会は理想通りにはいかず、「何が正しいか分からない」「本当にそれで良いのか」など、学ぶ(考える)ことに終わりはない、正解は一つではない、ということに改めて気づいた生徒もいたようである。
- ・英語で検索をかけたり英語でニュース記事を読むことで、英語学習のプラスαになった。

☆教材として使用した写真および記事☆

写真

写真1

https://www.afpforum.com/AFPForum/Search/ViewMedia.aspx?pn=5&smd=8&mui=3&q=3725587343188250447_0&fst=trade+war+us+china&fto=1&t=2&hid=3B5956AA5D7924ACE17A16EE3CF88FE8390985D1A7682A3D11B8B09550652BC86EB0BD6C1609CEEA&iir=1&opi=5&Psv=0&from=aHR0cHM6Ly93d3cuYWZwZm9ydW0uY29tL0FGUEZvcnVtL1N1YXJjaC9SZXN1bHRzLmFzcHg%2fcG49NSZzbWQ9OCZtdWk9MyZxPTM3MjU1ODczNDMxODgyNTA0NDdfMCZmc3Q9dHJhZGUrd2FyK3VzK2NoaW5hJmZ0bz0xJnQ9Mg%3d%3d&mpn=1

写真2

https://www.afpforum.com/AFPForum/Search/ViewMedia.aspx?pn=2&smd=8&mui=3&q=3725587343188250447_0&fst=trade+war+us+china&fto=1&t=2&hid=22E14117256D9BB80D22E8A147F13FF34F2BEA495273A2BB0DEEB00656121F4E&iir=1&opi=2&Psv=0&from=aHR0cHM6Ly93d3cuYWZwZm9ydW0uY29tL0FGUEZvcnVtL1N1YXJjaC9SZXN1bHRzLmFzcHg%2fcG49MiZzbWQ9OCZtdWk9MyZxPTM3MjU1ODczNDMxODgyNTA0NDdfMCZmc3Q9dHJhZGUrd2FyK3VzK2NoaW5hJmZ0bz0xJnQ9Mg%3d%3d&mpn=1

写真3

https://www.afpforum.com/AFPForum/Search/ViewMedia.aspx?pn=17&smd=8&mui=3&q=5005668157701481967_0&fst=Chernobyl&fto=1&t=2&hid=7D6C906F3951F2E28D39D5A65BAE3DDC773707B1E09B496972BBE3AED3EAE407&iir=1&opi=17&Psv=0&from=aHR0cHM6Ly93d3cuYWZwZm9ydW0uY29tL0FGUEZvcnVtL1N1YXJjaC9SZXN1bHRzLmFzcHg%2fcG49MTcmc21kPTgmbXVpPTMmcT01MDA1NjY4MTU3NzAxNDgxOTY3XzAmZnN0PUNoZXJub2J5bCZmdG89MSZ0PTI%3d&mpn=1

写真4

https://www.afpforum.com/AFPForum/Search/ViewMedia.aspx?pn=1&smd=8&mui=3&q=16938723486256689433_0&fst=iphone+masai&fto=3&t=2&hid=27274A8853DF98AA4CF0D897F2F39DA8E4057FE46BD00DF40A444EBFCFA5D8A8&iir=1&opi=1&Psv=0&from=aHR0cHM6Ly93d3cuYWZwZm9ydW0uY29tL0FGUEZvcnVtL1N1YXJjaC9SZXN1bHRzLmFzcHg%2fcG49MSZzbWQ9OCZtdWk9MyZxPTE2OTM4NzIzNDg2MjU2Njg5NDMzXzAmZnN0PWlwaG9uZSttYXNhaSZmdG89MyZ0PTI%3d&mpn=1

記事

注1

https://www.afpforum.com/AFPForum/Search/ViewMedia.aspx?pn=1&smd=8&mui=2&q=6795025992347436464_1&fst=cop26&fto=1&t=8&hid=A12F3E2B69AD765D04BD766404379A3D29519AD805D0EB6058674F7F3ED8203244D2EC24425DFCB838B942B51C3FA0B6379A4047B12E7CCD&iir=1&opi=1&Psv=0&from=aHR0cHM6Ly93d3cuYWZwZm9ydW0uY29tL0FGUEZvcnVtL1N1YXJjaC9SZXN1bHRzLmFzcHg%2fcG49MSZzbWQ9OCZtdWk9MSZxPTY3OTUwMjU5OTIzNDc0MzY0NjRfMSZmc3Q9Y29wMjYmZnRvPTEmdD04&mpn=1

注2

https://www.afpforum.com/AFPForum/Search/ViewMedia.aspx?pn=1&smd=8&mui=2&q=6795025992347436464_1&fst=cop26&fto=1&t=8&hid=A12F3E2B69AD765D04BD766404379A3D29519AD805D0EB60457871525714B0985C9599F80CA9DBDD9679A76A2A721252FBB4CFF01ADBFB838&iir=1&opi=1&Psv=0&from=aHR0cHM6Ly93d3cuYWZwZm9ydW0uY29tL0FGUEZvcnVtL1N1YXJjaC9SZXN1bHRzLmFzcHg%2fcG49MSZzbWQ9OCZtdWk9MSZxPTY3OTUwMjU5OTIzNDc0MzY0NjRfMSZmc3Q9Y29wMjYmZnRvPTEmdD04&mpn=1

注3

https://www.afpforum.com/AFPForum/Search/ViewMedia.aspx?pn=1&smd=8&mui=2&q=6795025992347436464_0&fst=cop26&fto=1&t=8&hid=A12F3E2B69AD765D04BD766404379A3D29519AD805D0EB602122F7037194E5A9ED9E09D4B8859ECF87F302E71876FA1AE433F272E7169CCC&iir=1&opi=1&Psv=0&from=aHR0cHM6Ly93d3cuYWZwZm9ydW0uY29tL0FGUEZvcnVtL1N1YXJjaC9SZXN1bHRzLmFzcHg%2fcG49MSZzbWQ9OCZtdWk9MSZxPTY3OTUwMjU5OTIzNDc0MzY0NjRfMCZmc3Q9Y29wMjYmZnRvPTEmdD04&mpn=1

哲学対話

対話を通して感じるSDGs

科目名 特別講座(冬期講習内)

指導教諭 新井誠司

参加生徒数 高校1年生 4名

授業期間 1日(約2時間)

授業内容

AFP WORLD ACADEMIC ARCHIVE内の写真1枚を元に対話を行う。



☆授業の目的

- AFP Forumの写真は見る者の感情・感覚に訴えかけるものが多い。感受性豊かな年代の生徒たちがそれに触れることにより「人として生きること」を深く考え、自らの日々を見つめるとともに、自分とは違う世界で生きている他者にも思いを向け、力強く生きていくためのきっかけとすべく講座を設定した。
- 対象生徒は海外帰国生を含む4名であったが、自らの思いを言語化することが苦手という者も含まれている。じっくりと対象に向き合うことで自らの感覚を研ぎ澄まし、感じたことを時間をかけて言語化していくというステップを踏むことで、自らの思いを外に出すことの喜びを感じられるようになるのと良いと考えている。

☆授業の流れ

- チェックイン(今の気持ちを感じよう)
- 1枚の写真
- 写真を感じよう
- 世界にある問題を語ろう
- 「生きる」って？
- チェックアウト(今の気持ちを感じよう)

○ 1枚の写真



○写真を感じよう

- この写真をじっくり見つめよう
- この写真を見て感じることを言葉にしよう
- この写真から伝わってくる気持ちを感じよう
- この写真の人物になりきってみよう
- 写真の中の自分の気持ちを言葉にしよう



【生徒の意見】

○この写真を見て感じることを言葉にしよう

- ・貧困
- ・プラごみがたくさんある
- ・臭いがきつそう
- ・足が黒い
- ・ここで生活している？
- ・どこの国なんだろう？
- ・手足が細い
- ・少年の服のサイズが少し大きい
- ・鳥がたくさん飛んでいる
- ・服がボロボロ
- ・学校には行っていないのか？

○この写真から伝わってくる気持ちを感じよう

- ・疲れ
- ・寂しさ
- ・諦念
- ・今は帰りたくない
- ・本当はそこにいたくない
- ・無力感
- ・足の痛みを感じている
- ・ご飯を食べたい
- ・誰かどうにかして
- ・希望
- ・「生きる」という気持ち
- ・強い意志

【生徒の意見】

○この写真の人物になりきってみよう

- ・風が気持ちいい
- ・憧れを眺める
- ・学校に行きたいな
- ・抜け出したい
- ・自由を手に入れたい
- ・同じ境遇の人を見て共感している
- ・座っている袋の中にある大切なものを守っている
- ・生き抜いてやる
- ・ゴミを運んできているトラックの運転手になることを夢見ている

○「写真の中の自分」の気持ちを言葉にしよう

- ・食べ物がなくて辛い
- ・怒り
- ・悲しみ
- ・絶望
- ・少し楽しい
- ・ここから抜け出すことを夢見ている
- ・恐怖を感じることもない
- ・今この苦勞を乗り越えればお金持ちになれる

○世界にある問題を語ろう

- 世界にある問題を見つめよう
- 感じたことを言葉にしよう

○「生きる」って？

- 世界の人々に普遍の「生きる」って何？
- 自分にとっての「生きる」って何？
- 「よりよく生きる」には？

【生徒の意見】

○世界にある課題の中で問題に感じていること

- ・飢餓とフードロスの問題
- ・ゴミ問題 ・貧富の差 ・戦争と平和の問題 ・環境破壊 ・移民・難民
- ・SDGsのゴール13・14・15。私たちは地球で生きているから、地球が危機に陥れば何もできなくなる

○世界の人々に普遍的「生きる」とは？

- ・衣食住の安定 ・誰かに必要とされること ・目的があること
- ・考えること ・どんなに小さなことでも、明るい気持ちになれる瞬間があること
- ・欲求が満たされること ・何かを達成すること ・幸せを感じられること
- ・好きなことに時間を費やせること ・コミュニケーションできる相手がいること
- ・友だちや家族がいること ・夢や希望があること

【生徒の意見】

○自分にとっての「生きる」とは？

- ・家族や友だちとコミュニケーションをすること
- ・いつかなくなってしまうもの
- ・好きなことに夢中になっている時
- ・何かと繋がりつづけること
- ・強さ
- ・泣くこと
- ・苦しいことも幸せなことも経験できること
- ・日々をかみしめながら過ごすこと
- ・死ぬために生きている(輪廻転生)
- ・誰かを支え、人のためになっている瞬間
- ・自由な考えを更に広げられること

○「よりよく生きる」には？

- ・見える形で目的や目標を作る
- ・夢や希望を持つ
- ・自信を持つ
- ・平和
- ・視野を広げて、世界を見る余裕が持てるようにする
- ・自由であること
- ・欲張ることができるようにする
- ・自己を肯定する
- ・どうしようもなく悲しいことがない

【生徒の感想など】

- 時間をしっかり割けば、世界規模のことも考えられることがわかった
- 対話をし、答えのないクエスチョンを考えることで、自分の視野が少し広がったように感じた
- 友だちと対話するのは、普段の話をするのとは違っておもしろかった
- 人生について色々なことを考えて、自分との共通点や違う点を見つけられておもしろかった
- 始める前は半信半疑だったけど、やってみるとおもしろくて共感することがたくさんあった
- 周りの意見や考えを聞いて、「おもしろい」「なるほど」「興味深い」と何度も思った。こういう機会がまたあると嬉しい
- 「考えること」を大事にしたい
- 「生きること」をもう一度深く振り返ってみたい
- 一日一善を目標に生きていく

☆効果

- AFP Forumの写真を用いることにより、生徒の心に響く対話が行えた。感受性豊かな年代だけに、写真の中から「生きる」というテーマを読み取り、それを真剣に受け止め、自分とは違う世界で生きている他者に思いを向けるとともに、自らの「生」とも向き合うことができたようだ。
- 生徒にとっては、YOUTUBEをはじめとした「映像」によって入ってくる情報が最も手軽で身近なものとなっているが、じっくりと対象に向き合うことができる「写真」を通して自らのペースで対象を見つめることにより、写真の中に複層的に広がっている世界に目を向けることができ、各々が感じたものを言葉に落とし込むことができていたようである。

○今後の目標

今回は教員が写真を選んだが、生徒が自ら写真を選ぶことで「興味・関心」に紐付けられた学びや気づきが期待できる。他の生徒が選んだ写真をもとにした対話が行われれば、興味・関心の広がりという別の意義も生まれ、対話自体も多様化してくるであろう。

それらを通して、生徒が他者の視点を取り入れるとともに、写真の向こう側にいる「自分とは違う生き方をしている人たち」へと思いを向けることができれば、SDGsの「誰一人取り残さない」という重要な考えを自らのものと考えられる。

本校で6カ年かけて行っているSDGsを元にした「学びとアクション」が、他者に向けられた「温かな心」に支えられたものとなるよう今後も刺激を与え続けていきたい。